

2016年4月1日付開示関連
ファイナンスに関する追加FAQ

テクノプロ・ホールディングス株式会社

2016/4/5

追加FAQ

質問	回答	補足資料※
なぜ新株式を発行したのか？	<ul style="list-style-type: none">• 資金用途はリリースに示した通りですが、本新株式の発行により中期経営計画期間の法人所得税費用が平準化されることで、各期の当期利益が当社業績をより適切に反映したものとなるメリットが生じます。昨年発表した中期計画の営業利益が当期利益に着実に反映します。	<ul style="list-style-type: none">• P.3、P.8、P.9参照
TIPの対象となっている潜在株式数265万株はいつ行使されるのか？	<ul style="list-style-type: none">• これは当社ファイナンスの選択肢を広げることを企図したもので、即座に希薄化が生じるものではありません。当社が権利行使を許可しない限り希薄化は生じませんし、ペナルティーなしにキャンセルする権利を留保しています。従って、市場の状況等を吟味して判断いたします。• また、株価が行使価額をある程度（概ね上場来の高値圏を想定）安定して上回らない限り、当社は権利行使を許可いたしません。	<ul style="list-style-type: none">• P.4、P.5、P.11参照
そもそもTIPによる調達が必要はあるのか？借入で対応できたのではないのか？	<ul style="list-style-type: none">• これは、あくまでファイナンスの選択肢を広げたものです。引き続き借入等の資金調達は並行して考慮しています。• ただ、資本調達的手段の中で、TIPは株価上昇時にのみ希薄化が発生することから、今後のEPS増加を視野に、既存株主の利益に適った手段であると認識しています。• 尚、繰り返しになりますが、TIPは行使の制限やプログラムの解約等が可能であり、当社は引き続き、あらゆる資金調達に関して自由な選択権を留保しています。• また、今回のTIP設定に関して、当社からドイツ銀行グループへの手数料支払いは一切発生しておらず、プログラムの解約もペナルティの支払なしに可能です。	<ul style="list-style-type: none">• P.10参照
なぜドイツ銀行グループを割当先として選定したのか？	<ul style="list-style-type: none">• TIPは、ドイツ銀行グループが独自に開発した手法で、これまでに本件も含めて23件の実績が日本においてあると聞いています。• 他の資本調達手法についても十分に検討した結果、当社ファイナンスの選択肢を広げることを重視して、新株式及びTIPの双方につき、割当先としてドイツ銀行グループを選定いたしました。	
外形標準課税の影響は？	<ul style="list-style-type: none">• 第三者割当による新株式の発行及びTIPは当社が実施するものであり、事業子会社は増資を行わないため、外形標準課税の影響については最小限に抑えています。	<ul style="list-style-type: none">• P.9参照

※「補足資料」は「ファイナンスに関する補足説明資料 [2016年4月1日付適時開示関連]」を指します

http://www.technoproholdings.com/wp-content/uploads/2016/04/release20160401_01_supportdoc.pdf